

# 広域空港管理官(北海道ブロック)

## 広域空港管理官(北海道ブロック)

配置空港:新千歳空港事務所

配置年月日:平成20年7月1日




ブロック(管轄)区域:北海道

ブロック内取り組み空港:稚内空港、紋別空港、女満別空港、中標津空港、釧路空港、帯広空港、旭川空港、丘珠空港、新千歳空港、函館空港

連携事業関係機関:北海道運輸局、北海道開発局、北海道(宗谷支庁、釧路支庁、根室支庁、網走支庁、石狩支庁、渡島支庁)、稚内市、紋別市、大空市、中標津町、釧路市、白糠町、帯広市、旭川市、札幌市、千歳市、苫小牧市、函館市、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、稚内商工会議所、北海道空港(株)、札幌丘珠空港ビル(株)、函館空港ビルディング(株)、女満別空港ビル(株)、釧路空港ビル(株)、帯広空港ビル(株)、根室中標津空港ビル(株)、北海道観光機構、稚内観光協会、釧路観光連盟、摩周観光協会、オホーツク圏観光連盟、十勝観光連盟、千歳観光連盟、日本航空(株)、全日空(株)、スカイマーク(株)、北海道国際航空(株)、(株)北海道エアシステム、キャセイパシフィック(株)、北海道旅客鉄道(株)、東日本高速道路(株)北海道支店、北海道バス協会

## 広域空港管理官の取り組み内容

### ①新千歳空港国際線旅客ターミナルビル新設に伴うユニバーサルデザインの検討

利用促進類型	[2] 空港利用者サービスの改善
実施主体	新千歳空港旅客ターミナルビルユニバーサルデザイン総合検討委員会
実施時期	平成20年4月18日、6月6日、8月23日、10月9日、12月16日、平成21年3月11日
概要	新千歳空港国際線旅客ターミナルビルの整備にあたり、ユニバーサルデザインの考え方を整理し、具体的な提案を行う。
内容等	<p>・委員会は、大学教授、障害者(肢体不自由者、視覚障害、聴力障害)、知的障害者家族の方々、外国人及び空港設置管理者等が委員となり、動線、総合案内、情報提供、サインなど215項目について、モックアップを使用した実施検証などを経て検討を深め、主体事業者である北海道空港(株)に報告し、事業を推進させている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>UD検討委員</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トイレモックアップでの車椅子での実</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サインモックアップでの視覚障害の方の実</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">ひとこと</p> <p>検討項目が多岐にわり、障害者の方々から出される意見や指摘が多いことに驚くと同時に、UDは、「障害を持った人を対象として特別に使い易くするためではなく、誰でも使い易く。」であることを再認識しています。</p> </div>